	· <u></u>			既設	更新提案
用	<u>途</u>	項	目 単位	空 冷 定 速 二 段 機	水 冷 INV 二 段 機
冷	凍 機	型台	式 <u>-</u> 数 台	RSU-752TA 1	iz α 110W II 1
		メ ー カ		日立空調システム	神戸製鋼
		容能	量 HP 力 kw	75 62.6	110 (87) 102.8
			MAX) kw	63.1	71.6
		消費電力(記	及 計) kw 殳 計) °C	51.7 -40	71.6 -40
		必要冷却	水量 m3/h	-	44
冷		型台	式 数 台	<u> </u>	PEZ-12539-3W-16/12 2
		\ \ \ \ \ \		原 製 作 所	マキシスエ業
			力 kw 力 kw	31.3 31.3	51.4 51.4
		Ⅰ 不 足 能	力 kw	0.0	0.0
		蒸 発 潜 冷 媒 循 ³	熱 kJ/kg 環 量 kg/h	185.5 607.3	135.0 1370.7
		一回路当りの冷媒	循環量 kg/h•回路	30.4	31.2
		<u>ー回路当りの伝</u> k ファク	<u>熱面積 m2/回路</u> タ ー w/m2/k	16.7 9.4	9.6 13.5
		TD	°C	10.0	9.0
		接 触 効 一回路当りの能力(循環』	— 1	0.90 1.56	0.95 1.17
	却 器	一回路当りの能力(伝面	iから算出) kw/回路	1.56	1.17
		冷媒循環量対にする 冷媒循環量と伝面の		100.0%	100.0%
		デ フ ロ ス ト 散 水	方 式 - 量 L/min	散水デフロスト	散水デフロスト 310
		伝 熱 面	積 m2	335	422
		一 管 列	径 mm 数 列	19.05 12	15.88 12
		段	数段	20	44
		フィン 相		1700 アルミ	2000 アルミ
		フィンピ	ッチ mm	12	4列16mm/8列12mm
		PP 配		65×75 千鳥	50×50 碁盤又は千鳥
		回 四 路	長 m 数 回路	20.4	24.0 44
		<u></u> 型 台	式 –	不明	DHF-70SZ-3.7
		サーカ	数 	4 不 明	<u>6</u> 東洋エンゼル
軸	流 扇	容	量 kw 量 m3/min	2.2	3.7 260
		風 全 静 消 費	圧 Pa	280	340
		<u>消費電</u> 型	<u>力</u> kw 式 -	3.9 AKV	3.7 EXV
高 ラ	n+/ 1E /	台	<u>数</u> 台 ニット 台	2	2
電子	膨張弁	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	<u>ニット 台</u> ー -	2 ダンフォス	キャレル
補機類		その 冷却塔	<u>他</u> – 方 式 –	な し 空 コ ン	バックアップ 電 源 密 閉 式
		冷 却 塔 ;	型 式 -	<u> </u>	出 闭 式 KBM-60R
		台 ターカ	数 台	1 -	
	冷 却 塔	必要放	熱 量 kw	154.7	195.8
		1 必 妛 冷 却 ト	ン数 ton 水量 m3/h	-	43 44
		必要冷却	ン 数 ton	-	56
		散水ポ	ン kw ン プ kw	-	3.7 1.5
		循 環 水 。 台	量 L/min		733 1
	循環ポンプ	7 │ 楊	程 m	-	20
		循 環 ポ ン プ 循 環 ポンプ 消 §	定_格kw 費 電 力kw	-	5.5 4.8
	散水ポンプ	┃ 循 環 水	量 L/min	?	310
		分楊	数 台 程 m	?	1 20
		循 環 ポ ン プ 循 環 ポンプ 消 §	定 格 │ kw	3	2.2
必要	電力量	最大消費電	力 計 kw	78.9	2.0 105.8
			力計 kw 圧 V	67.5 206	105.8 200
		│ 力 率 (想	定) -	0.85	0.85
		最大電流 運転電流	<u> </u>	260 222	359 359
	産 量	増	減 kw	-	38.3
生		<mark></mark>	量 kg/day k)/日 h/day	2,340 3.1	3,600 3.0
		バ ッ チ	数 b/day ッチ kg/b	13 180	20 180
		処理(庫内)	温 度 ℃	-30.0	-30.0
		<u>処理時間//</u> 増	<u>ドッチ h/b</u> 減 kg/day	3.1	3.0 1,260
					こして、日中し、て出去早が540/マップ

特 記 事 項

今回更新にて庫内温度-30℃、熱源を75HP→110HP、クーラー能力をアップすることで、目安として生産量が54%アップと推測されます。被冷却物の性状(大きさ、厚み、脂質含有など)と並べ方によって冷却スピードは変化しますのであくまで机上ベースの推測です、一般的に凍結装置メーカーでは、この部分につき事前に実際の商品でサンプルテストを行い、客先との保証条件としているようです。弊社が扱う商品は、あくまでメーカーの規定条件における性能保証にて商品機器単体の性能は保証いたしますが、凍結庫としてのシステム保証は除外となります、ご容赦ください。